

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディスカバリースタジオ		
○保護者評価実施期間	2024年11月3日		2024年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60 (回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		2024年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	画一的なプログラムではなく、お子様の興味や関心に合わせ、プログラム内容を変更できること。	お子様に関する情報共有の場を定期的に設けるようにしている。その中で、プログラムの案を出し合い、お子様が楽しみながら課題と向き合えるようなプログラムを考えている。	事務の負担を軽減し、よりプログラム立案へ時間を注げるように効率化を図る。スタッフが抱えている事務作業の洗い出しを行い、効率化や削減できる事務作業がないか検討を行う。
2	個別支援など、お子様のペースに合わせた支援を行っているため、登校しにくいお子様でも通所できていること。	お子様の意見を傾聴、尊重する姿勢で療育を行っている。	「こうなりたい」「こんなことがしたい」といったお子様の希望や未来に、少しでも近付けられるような支援展開をしていきたい。そのために、お子様の意見を聴く機会の充実、傾聴力の向上に努める。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様支援や保護者会の充実。	各ご家庭における保護者様のお仕事の都合などにおいて難しい課題がある。	保護者様支援に関してより多くの機会提供をできるように努める。そのためにも、業務の効率化を図り、機会の確保をしていく必要がある。
2	避難訓練や研修状況の発信。	SNSで発信を行っているが、SNSの存在を知らない保護者様もおられると感じている。	SNSの存在について周知していく。
3			